

令和 6 年 6 月 11 日現在

機関番号：32644

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2023

課題番号：19K10543

研究課題名(和文)地域の医療・ケア提供者を支える倫理コンサルテーションモデルの構築

研究課題名(英文) Construction of an ethics consultation model to support community healthcare providers

研究代表者

竹下 啓 (Takeshita, Kei)

東海大学・医学部・教授

研究者番号：10276248

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：在宅医療・ケア提供者を対象に調査を行い、患者の意思決定能力、家族との関係性、職種・施設間の連携に起因する倫理的問題が多く経験されていることを明らかにした。また、生命維持治療の中止や自発的飲食中止の経験への対応を求められていることを示した。そして、倫理支援者に対して、倫理の専門性以外に在宅医療・ケアの専門性と地域でのつながりを求めていることが判明した。これらの調査結果と、研究者が地域で実践した臨床倫理支援についての経験を踏まえ、「倫理コンサルテーションハンドブック」の改訂を行なった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、地域の医療・ケア提供者が直面している倫理的問題を明らかにし、さらに、地域の在宅訪問サービス事業者や介護施設に倫理コンサルテーションを提供する実証研究を行うことを通じて、地域で生じる倫理的問題に対して有効に機能する倫理コンサルテーションのあり方を提示した。

研究成果の概要(英文)：Our studies focusing on home health care providers revealed that they experience many ethical issues arising from patient decision-making capacity, family relationships, and interprofessional and interagency collaboration. It was also found that they were asked to respond to patients who requested withdrawal of life-sustaining treatment and voluntary stopping eating and drinking. And it was found that in addition to ethics expertise, home care expertise and community connections were sought by professionals providing ethics support. Based on these findings and our experience with clinical ethics support in the community, the Ethics Consultation Handbook was revised.

研究分野：臨床倫理学

キーワード：臨床倫理コンサルテーション 倫理支援 在宅医療 訪問看護 介護施設 地域医療

## 1. 研究開始当初の背景

医療・ケアの現場で生じる困難な倫理的問題に直面した医療従事者を支援する仕組みとして、倫理コンサルテーション (Clinical Ethics Consultation: CEC) が注目されている。CEC とは、倫理的知識やファシリテーションスキルを身につけた個人もしくは数名の倫理コンサルタントが、主として医療従事者からの依頼を受け、関係者と対話を重ねながら解決策を模索する活動である。この活動は 1970 年代にアメリカにおいて誕生し、現在では医療サービスの一部として、医療の質向上に貢献しているという報告がある (Au SS, et al. Crit Care Med 2018;46:799)。CEC は、日本の病院においても、病院機能評価や終末期医療に関するガイドラインなどの要請に応じて普及しつつある。

しかし、倫理的問題が生じるのは、病院の中だけではない。わが国は今後高齢化率が急速に高くなり、独居や認知症の人の数や、年間死亡者数が急増すると見込まれる。こうした状況を踏まえ、厚生労働省は、地域包括ケアシステムの構築を推進している。さらに、高齢者だけでなく、悪性腫瘍、難病、精神疾患、重度の障害を持った人など、さまざまな人を地域で支える地域共生社会の実現が望まれている。つまり、地域で活動する医療・ケア提供者も、病院と同じように、深刻な倫理的問題に直面している可能性が高いのである。

ところが、前述の通り従来の CEC は病院内が主な活動場所であり、地域における CEC に関しては、日本はもちろん海外でも、これまで十分な検討はなされてこなかった。

## 2. 研究の目的

本研究は、地域の医療・ケア提供者が直面している倫理的問題を明らかにし、さらに、地域の在宅訪問サービス事業者や介護施設に倫理コンサルテーションを提供する実証研究を行うことを通じて、地域で生じる倫理的課題に対して有効に機能する倫理コンサルテーションのモデルを構築することを目的としている。

## 3. 研究の方法

以下の三つの課題・方法を通じて研究目的を達成する。

地域の医療・ケア提供者が直面している倫理的問題を明らかにする。在宅医療・ケア従事者や介護施設の管理者を対象とした調査を実施する。

CEC を地域の医療・ケア提供者に提供する実証研究を行い、その効果と課題を明らかにする。神奈川県西部地域を中心に地域に開かれた臨床倫理コンサルテーションを展開し、実務的な課題を明らかにする。

地域で CEC を展開する上で利用可能なハンドブックを作成する。上記の知見を活用し、地域で臨床倫理コンサルテーションを実施する上で参照できる資料とする。

## 4. 研究成果

(1) 在宅訪問サービス及び介護保険施設で医療・ケアに携わる医師、看護師、介護支援専門員を対象とした質的研究：研究対象者が在宅医療・ケアの実践で大切にしていること、直面したことのある倫理的問題、倫理的問題を解決するために行っている取り組み、倫理的問題を解決するために実現したい取り組みを検討した。医療・ケアの場 (自宅・施設) による違いについても明らかにした。

(2) 在宅医療・ケアに携わっている医師と看護師が望んでいる倫理支援についての質問紙調査：この研究では、在宅医療・ケアに携わっている医師や看護師が、自分たちと同じ専門性や経験を共有する個人や組織と医療・ケアに関わる倫理についての資質を有する個人や組織との協働による倫理支援を望んでいることが示唆された。

(3) 在宅医療・ケアに携わっている医師と看護師が経験している倫理的問題についての質問紙調査：患者本人の意思決定能力の問題や家族との関係性に起因する問題を多く経験していることが明らかとなった。また、一定数の医師・看護師が生命維持治療の中止や自発的飲食中止の経験をしていることが示され、それらの方針決定において多専門職による検討を実施することが課題であることが明らかとなった。

( 4 )新型コロナウイルスワクチンをめぐる倫理的問題とその対応についての質問紙調査：全国の特別養護老人ホームにおいて、本人の意向の確認ができないためにワクチン接種ができなかった事例が一定数存在することが明らかになった。  
いる。

( 5 )地域における臨床倫理支援についての検討：研究者らがそれぞれの地域で継続している臨床倫理支援活動の課題を検討した。また、ワークショップで他の研究者や倫理支援者と意見交換を行なった。

( 6 )以上による知見に基づき、研究者らが執筆した「倫理コンサルテーションハンドブック」の改訂作業を行なった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計35件（うち査読付論文 7件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 Takeshita Kei, Nagao Noriko, Dohzono Toshihiko, Kamiya Keiko, Miura Yasuhiko	4. 巻 15
2. 論文標題 Ethical Issues faced by Home Care Physicians and Nurses in Japan and their Ethics Support Needs: a Nationwide Survey	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Asian Bioethics Review	6. 最初と最後の頁 457 ~ 477
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s41649-023-00238-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeshita Kei, Nagao Noriko, Kaneda Hiroyuki, Miura Yasuhiko, Kinjo Takanobu, Takimoto Yoshiyuki	4. 巻 14
2. 論文標題 Report on the Establishment of the Consortium for Hospital Ethics Committees in Japan and the First Collaboration Conference of Hospital Ethics Committees	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Asian Bioethics Review	6. 最初と最後の頁 307 ~ 316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s41649-022-00219-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹下啓、長尾式子、堂園俊彦、三浦靖彦、神谷恵子	4. 巻 11
2. 論文標題 在宅医療・ケアに携わる専門職が直面している倫理的問題と望まれる倫理支援	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 臨床倫理	6. 最初と最後の頁 16 ~ 33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 竹下 啓	4. 巻 別冊
2. 論文標題 【遺伝性腫瘍学入門 遺伝性腫瘍の基礎知識】倫理・法・社会的問題(ELSI)リスク低減手術をめぐる倫理的課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 遺伝子医学	6. 最初と最後の頁 281-286
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹下 啓	4. 巻 40
2. 論文標題 COVID-19と医療倫理	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 呼吸器内科	6. 最初と最後の頁 433-138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹下 啓、堂園俊彦、神谷恵子、長尾式子、三浦靖彦	4. 巻 31
2. 論文標題 生命・医療倫理研究会「COVID-19の感染爆発時における人工呼吸器の配分を判断するプロセスについての提言」と米国ニューヨーク州「人工呼吸器配分ガイドライン」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 生存科学	6. 最初と最後の頁 51-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤 芳、稲葉 一人、三浦 靖彦、竹下 啓、山田 陽介、馬場 葉子、箕岡 真子	4. 巻 8
2. 論文標題 日本臨床倫理学会作成「日本版POLST(DNAR指示を含む)作成指針」利用状況に関する調査結果について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床倫理	6. 最初と最後の頁 31-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹下 啓	4. 巻 122
2. 論文標題 医師の3つの責務(診療・研究・教育)と利益相反	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 精神神経学雑誌	6. 最初と最後の頁 812-821
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹下 啓	4. 巻 215
2. 論文標題 コロナが変える社会とこころ コロナがあぶり出す変わらない私たちの社会とこころ 黒髪校事件を振り返る	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 こころの科学	6. 最初と最後の頁 85-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 102
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェ つるりん(第11回) マスクと隔離の正義	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 477-484
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 102
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェ つるりん(第12回) 人はいつから人なのか	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 616-623
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 102
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェ つるりん(第13回) 昨晚お会いしましょう	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 762-769
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 102
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェつるりん(第14回) 何もきかないで	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 914-921
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 102
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理 カフェつるりん(第15回) 守ってあげたい	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 1046-1052
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 102
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理 カフェつるりん(第16回) 星空の誘惑	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 1166-1173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 102
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理 カフェつるりん(第17回) 安楽死と殺人罪	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 1286-1292
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 102
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理 カフェつるりん(第18回) 事前の指示	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 1419-1424
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 102
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理 カフェ つるりん(第19回) 医療とは何か	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 1548-1554
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 103
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェ つるりん 最終回 プロフェッショナリズム	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 104-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹下 啓	4. 巻 26
2. 論文標題 COVID-19パンデミックと臨床倫理	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大学病院の緩和ケアを考える会誌総会・研究会記録号	6. 最初と最後の頁 56-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 101
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェ つるりん(第1回) 尊厳死と延命治療	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 750-754
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 101
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェつるりん(第2回) ムンテラする?ICする?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 872-877
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 101
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェつるりん(第3回) ベンとお弁当と私	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 991-996
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 101
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェつるりん(第4回) 倫理コンサルテーション	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 1131-1136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 101
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェつるりん(第5回) 24時間働けますか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 1230-1235
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 101
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェつるりん(第6回) DNAR症候群	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 1362-1367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 101
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェつるりん(第7回) ムンテラとうそと電子カルテ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 1501-1507
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 102
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェ つるりん(第8回) 宗教と倫理のあいだ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 117-124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 102
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェつるりん(第9回) 研究か研究じゃないのか、それが問題だ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 226-233
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金城 謙太郎, 長尾 式子, 竹下 啓	4. 巻 102
2. 論文標題 こちらつるかめ病院臨床倫理カフェ つるりん(第10回) アドバンス・ケア・プランニングと人生会議	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 治療	6. 最初と最後の頁 358-365
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木 みづほ, 大貫 優子, 高橋 千果, 竹下 啓	4. 巻 30
2. 論文標題 がんゲノム医療の実際と倫理的課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 生存科学	6. 最初と最後の頁 3-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹下 啓	4. 巻 50
2. 論文標題 東海大学医学部における倫理的問題に気づく力の涵養を目的とした臨床倫理カンファレンスの試み	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学教育	6. 最初と最後の頁 369~373
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11307/mededjapan.50.4_369	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Mizuho Yamazaki, Ohnuki Yuko, Takeshita Kei	4. 巻 15
2. 論文標題 Genetic Data Governance in Japanese Hospitals	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Asian Bioethics Review	6. 最初と最後の頁 377 ~ 395
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s41649-023-00242-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Unzaki Ai, Takahashi Kazumi, Ohnuki Yuko, Suzuki Mizuho Yamazaki, and Takeshita Kei	4. 巻 7
2. 論文標題 Japanese General Clinical Oncologists' Knowledge and Real-world Experiences of Cancer Genomic Medicine: A Nationwide Web-based Survey Study	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 JMA Journal	6. 最初と最後の頁 258 ~ 266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31662/jmaj.2023-0187	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 運崎 愛、竹下 啓	4. 巻 86
2. 論文標題 アドバンス・ケア・プランニング	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 外科	6. 最初と最後の頁 650 ~ 654
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計24件 (うち招待講演 12件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 竹下啓、瀧本禎之、長尾式子、金田浩由紀、三浦靖彦
2. 発表標題 病院・臨床倫理委員会と臨床倫理コンサルテーションをめぐる論点
3. 学会等名 第34回日本生命倫理学会年次大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 長尾式子、堂園俊彦、神谷恵子、三浦靖彦、竹下 啓
2. 発表標題 地域で医療・ケアに携わる専門職が直面している倫理的問題
3. 学会等名 日本臨床倫理学会第9 回年次大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹下 啓、堂園俊彦、長尾式子、神谷恵子、三浦靖彦
2. 発表標題 在宅医療・ケアに従事する医師と看護師はどのような倫理支援を求めているか
3. 学会等名 日本臨床倫理学会第9 回年次大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹下 啓、三浦靖彦、長尾式子、堂園俊彦、神谷恵子
2. 発表標題 地域における臨床倫理支援
3. 学会等名 第33回日本生命倫理学会年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）との向き合い方
3. 学会等名 日本がん口腔支持療法学会第7回学術大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 Covid-19パンデミックにおける医療倫理
3. 学会等名 第14回日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 Covid-19パンデミックと臨床倫理
3. 学会等名 第26回大学病院の緩和ケアを考える会総会研究会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 事例から学ぶ臨床倫理の基本
3. 学会等名 第69回東日本整形災害外科学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 生命維持治療への不同意をどう考えるか
3. 学会等名 第27回日本血液代替物学会年次大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 竹下 啓、本家淳子、武市尚子、金城隆展
2. 発表標題 ラウンドテーブルディスカッションで学ぶ臨床倫理コンサルテーション - 立ち上げから運営まで
3. 学会等名 第32回日本生命倫理学会年次大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 少し肩の力を抜いて ” ACP ” を考えよう
3. 学会等名 2020年度在宅医療シンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 臨床試験と倫理指針について
3. 学会等名 第18回日本臨床腫瘍学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 東海大学医学部付属病院倫理委員会の概要と臨床倫理委員会をめぐる今後の課題
3. 学会等名 第32回日本生命倫理学会年次大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 リスク低減手術に関連する倫理的課題
3. 学会等名 第6回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 アドバンス・ケア・プランニングと認知症の人の自律
3. 学会等名 日本臨床倫理学会 臨床倫理月間WEB大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 利益相反と責務相反
3. 学会等名 第115回日本精神神経学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 医師・患者関係とインフォームド・コンセント
3. 学会等名 第3回日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 地域における倫理コンサルテーションの課題
3. 学会等名 第31回日本生命倫理学会年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 公立福生病院における透析治療の不開始・中止を考える
3. 学会等名 第31回日本生命倫理学会年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 パネルディスカッション2「終末期の低血糖発作への対応」：終末期の低血糖発作への対応をめぐる臨床倫理
3. 学会等名 第28回日本緩和医療学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 シンポジウム9「高齢者腎代替療法選択における多職種連携（腎臓病療養指導士企画）」：腎代替療法選択における倫理的側面- Conservative Kidney Managementを中心に-
3. 学会等名 第53回日本腎臓学会東部学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 臨床倫理の最前線 -ACPをいかに実践するか- : ACPをどう使うか
3. 学会等名 日本内科学会 内科横断的教育セミナー（招待講演）（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 竹下 啓、津村和大、宮岡 等、安原幸彦
2. 発表標題 公募シンポジウムD2-3：病名とスティグマ
3. 学会等名 日本生命倫理学会第35回年次大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 竹下 啓
2. 発表標題 大会長講演：医療・ケアの基盤としての臨床倫理
3. 学会等名 日本臨床倫理学会第11回年次大会（招待講演）
4. 発表年 2024年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 (監修)日本エンドオブライフケア学会、(編集)平原 佐斗司、荻野 美恵子、(執筆者)竹下 啓、三浦 靖彦、他	4. 発行年 2022年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 488
3. 書名 エンド オブ ライフ ケア	

1. 著者名 木澤義之, 森 雅紀, 岩田 太, 竹下 啓, 山岸暁美, 江口恵子, 大谷弘行, 蔵本浩一, 満岡 聡, Cheng-Pei Lin, Sun-Hyun Kim, 菊池里美, 安部奈津子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 青海社	5. 総ページ数 148
3. 書名 ホスピス緩和ケア白書2023 (アドバンス・ケア・プランニング (ACP) の概念と実践への取り組み)	

1. 著者名 堂園俊彦、竹下 啓 (編著)、神谷恵子、長尾式子、三浦靖彦 (著)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 176
3. 書名 倫理コンサルテーションケースブック	

1. 著者名 竹下 啓	4. 発行年 2020年
2. 出版社 へるす出版	5. 総ページ数 189
3. 書名 介護をめぐる臨床倫理<施設> 日本臨床倫理学会 (編集) 臨床倫理入門II (各領域の臨床倫理) pp131-135	

1. 著者名 竹下 啓	4. 発行年 2020年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 242
3. 書名 生命の終期をめぐる倫理 有田悦子、足立智孝行 (編集) 薬学人のための事例で学ぶ倫理学	

1. 著者名 後藤 恵子、有田 悦子、井手口 直子、竹下 啓、他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 276
3. 書名 薬学生・薬剤師のためのヒューマニズム 改訂版	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	三浦 靖彦  (Miura Yasuhiko)  (40181854)	岩手保健医療大学・看護学部・教授   (31204)	
研究分担者	長尾 式子  (Nagao Noriko)  (40396700)	北里大学・看護学部・教授   (32607)	
研究分担者	堂園 俊彦  (Dozono Toshihiko)  (90396705)	静岡大学・グローバル共創科学部・教授   (13801)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------